

博士学位論文・修士論文

◆2010年度

〔博士学位論文〕

- 木村 容子 専門里親の資質向上を目指す支援のための実践モデル
— M-D&D による開発的研究 —
- 吉武 信二 女性の健康ダイエット支援法の開発
— ダイエット行動評価・身体組成標準値・SF-36の活用 —
(学位授与日・50音順)

〔修士論文〕

- 谷元 藤代 既婚在日コリアン女性の日常的ストレスに関する基礎的研究
～夫婦の伝統的ジェンダー役割意識からの検討～
- 崎本 翔 児童自立支援施設において夫婦小舎制を営む夫婦職員の Work/Life Experience
に関する探索的研究
- 高橋 味央 摂食障害サバイバーの語り
— 『病いの語り』の概念的枠組みを用いた探索的研究—
- 西口 亜悠 退院支援におけるスクリーニングシートの活用による有用性に関する研究
— ソーシャルワークの視点から—
- 福田 孝子 要支援高齢者の自己効力感と友人関係の関連性
- 藤原 和俊 児童養護施設における生活単位の小規模化に伴う課題とその解決方策に関する研究
— 実地調査を通じて—
- 松浦 考佑 重症心身障害児者の脱家族・脱施設化についての一考察
～宝塚市肢体不自由児者父母の会アンケート調査を用いて～
- 渡邊 健 高齢者介護施設に従事する介護職員のバーンアウトに影響を与える要因
— 組織の支援体制を中心とした検討—
(学位授与日・50音順)

人間福祉研究科優秀修士論文賞「駒草賞」

人間福祉研究科では、故 高田真治 名誉教授 (2006年12月14日ご逝去) のご遺族から受納した寄付により、優秀な修士論文を執筆した博士課程前期課程の学生の努力と業績を称えるため、優秀修士論文賞「駒草賞」を設けています。

名称の由来は、駒草(ケマンソウ科の多年草、高山植物の一つ)を故人が好まれたことによります。

最優秀賞には表彰状と副賞5万円、優秀賞には表彰状と副賞3万円が贈られます。

2010年度の受賞者は次のとおりです。

・優秀賞

高橋 味央

摂食障害サイババーの語り

—「病いの語り」の概念的枠組みを用いた探索的研究—

西口 亜悠

退院支援におけるスクリーニングシートの活用による有用性に関する研究

渡邊 健

高齢者介護施設に従事する介護職員のバーンアウトに影響を与える要因

—組織の支援体制を中心とした検討—

人間福祉研究科優秀修士論文賞規程

(目的)

第1条 学校法人関西学院は、高田睦子氏(故高田真治社会学部名誉教授夫人)よりの寄付金をもって、人間福祉研究科優秀修士論文賞(駒草賞)を設定する。

2 この賞は、人間福祉研究科学生の研究意欲を刺激し、その向上をはかることを目的とする。

(資格及び交付)

第2条 この賞は、毎年人間福祉研究科において優秀な修士論文を執筆した学生に授与する。受賞者を毎年若干名とし、受賞者には賞状と副賞を授与する。

(所管及び運営)

第3条 人間福祉研究科に優秀修士論文賞(駒草賞)選考委員会を設け、受賞者の選考に当たる。

2 選考委員会の構成及び選考方法については別に定める。

(規程の改廃)

第4条 この規程の改廃は、選考委員会の議を経て、人間福祉研究科委員会で決定し、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この規程は、2008年(平成20年)11月1日から施行する。